



静岡県連盟結成100周年記念《地区協議会長会・静岡赤沢会・長青会》三者交流会／3ページ



全国こども体験フォーラム／6ページ



お宅訪問・村松理事長／10ページ



パイオニアリングに挑戦／5ページ

CONTENTS

富士スカウト顕彰を開催	2	お宅訪問 静岡県連盟理事長 村松 武博氏	10
地区協議会長会・静岡赤沢クラブ・長青会 三者交流会	3	いつも元気だっ!ビーバーだより	11
県連SKC 2021新春WEB会議開催	4	ボーイ通信	11
パイオニアリングに挑戦	5	ベンチャー通信	12
「全国こども体験フォーラム2021」WEB生配信	6	指導者だより	12
掛川第2団「菊スカウト章」受章及び 「スーパーカブ」認定の報告会	6	ユースルーム引越しに伴う県連団倉庫整理	14
ボーイスカウト静岡県連盟結成100周年記念DVD制作中!	7	おめでとう35名の友情章	14
スカウト像モデルの思い出	7	令和3年 全国大会 静岡・熱海	15
三島第5団カブ隊 おうちスカウティング	8~9	おしらせコーナー	16

「富士スカウト顕彰」を開催

日時:3月27日(土) 11:30~13:00

公益社団法人日本ボーイスカウト日本連盟は、これまで毎年実施してきた「富士スカウト代表表敬」事業をコロナ禍により中止とし、新たにコロナ影響下でも実施できるオンライン型行事として「富士スカウト顕彰」を実施致しました。

この日全国の代表スカウト45名がオンラインで集合して、秋篠宮皇嗣殿下とご接見の機会を頂戴しました。富士スカウトたち一人ひとりが、自身が挑戦した社会貢献や高度な野外活動プロジェクトについて殿下に報告し、殿下からのご質問にお答えするなどの時間をいただき、その後、殿下から激励のお言葉を頂戴しました。

同日午後は、2019年度、2020年度に富士スカウト章を受章したスカウトのうち31県連盟166人が集合しました。菅内閣総理大臣、萩生田文部科学大臣、逢沢衆議院議員(ボーイスカウト振興国会議員連盟会長)、奥島孝康 ボーイスカウト日本連盟総長、宮川大輔 ボーイスカウト アンバサダー(お笑い芸人)からそれぞれ激励メッセージをいただき、その後「25歳のわたしは、世の中に対して何ができるようになっていきたいか?」をテーマに、全国の仲間たちと話し合い・交流の時間を持ちました。



(ボーイスカウト日本連盟HPより転載)



ボーイスカウト静岡県連盟 2020年度富士章受賞者紹介

富士宮地区 富士宮第25団 ベンチャー隊 井出 己尋

私が富士スカウト章を取得できたのは家族や地区の方々が沢山の支援をくださったお陰です。今後は後輩スカウトを支援する立場として地区に恩返ししていきたいです。

地区協議会会長・静岡赤沢クラブ・長青会

三者交流会

日時: 令和3年1月31日(日)



長青会: 川村 進氏



コロナ禍で何度か開催時期が延期となりましたが、静岡県連結成100周年を機に「地区協議会会長」「静岡赤沢クラブ」「長青会」三者交流会を開催致しました。

副連盟長・正副理事長・執行理事(共に長青会員)・広報委員長を迎え、地区協議会会長6地区、静岡赤沢クラブ(スカウトOB会)、長青会員の総数32名の出席がありました。県連盟スカウトクラブ「長青会(Shizuoka Evergreen Scout Club)」は、2008年6月28日に発足、満13歳を迎えました。“いつまでも青年のように若々しく”スカウティングを楽しみながら、「大先輩達が歩いて来られた静岡県のスカウトの歴史、足跡をたどり、後輩たちに伝えよう!」を合業に活動を展開。現役を済ませた方々の活動、研鑽、そして親睦の場をつくり、スカウティング経験者の連携、奉仕の継続、交流を深め、永年に亘る経験を基にスカウト活動を支援、後輩への伝承、スカウト運動の普及発展に貢献できるように努めております。今回、鈴木邦夫会長による記念講演「スカウティングと三」を聴講しました。初代後藤新平総長「自治三訣」、指導者訓練の祖佐野常羽大先達「清規三事」中心のお話でした。特に「清規」は禅宗の作法等を取り決めた「規則」であり、「三事」はスカウト指導の為の心の原点であり、「誠」を実践しようと努める人の思いや行いする記述に見出している点であるとの説明は、大変興味深いものでした。本年結成100周年を迎え、先達のスカウティング理念の原点に再び思いを馳せることができ、感謝の気持ちでいっぱいです。最期は小林 透県連コミッショナー による「彌榮」で100年への決意を新たにしました。

赤沢クラブ: 海野登光氏

コロナ禍の中、なかなか進まなかった三者交流会が開催されました。

赤沢クラブ(静岡スカウトOB会)と長青会とが100周年に向けてタッグを組んだ形ですが、県下の地区協議会長も参加しての話し合いは100周年に向けて貴重な第一歩となりました。小学生時代から赤沢野営場に慣れ親しんだ世代にとっては果たすべき『最後の務め』と思い、赤沢クラブの活動を進めて参りましたが、今回の三者交流会により改めて非常に大きな勇気を頂きました。赤沢クラブでは尾崎忠次先達の残した資料を整理している間に、100年前のこの地にボーイスカウトを誕生させるために1915年スカウティング・フォア・ボーイズを翻訳・出版した深尾韶(ふかおしょう)氏やスカウト市長と呼ばれた尾崎元次郎氏ら多くの先輩達が想像を絶する苦労を重ねた事実、またその情熱に心打たれました。この素晴らしい諸先輩が作り上げたスカウト運動を末永く継続していくためにも、意義ある100周年記念事業にしたいですね!!



県連SKC (ソカクコウホウカレッチ) 2021新春WEB会議開催

日時: 2021年1月23日(土) 県連組広報オブザーバー 稲野 吉弘

今回のSKC(ソカクコウホウカレッチ)は初めてのリモート会議を行いました。参加者は38名。

コロナ感染症拡大、そして1月7日からの緊急事態宣言、先の見えない世相、ボーイスカウト世界も様々な弊害、自粛を余儀なくされ、かつてのようにはいかに不自由が続いていますが、いつの時代でも道はあります、やる気さえあれば道は開けるものです。今回はSKCをリモート会議開催、ネットワークを利用しての会議となりました、対面式会議には及ばないものの情報共有には十分。議論はやはり、コロナ禍でのボーイスカウト活動!一人一人の入団を丁寧に確実に急げ、そして中途退団へのきめの細かい配慮が減少を食い止めることに尽きます。

【登録数の今!】マクロ的には減少傾向は鈍化しつつありますが、各団、各地区の状況には変化の兆し“団機能(特に組拡部門)を発揮しているところが持続化”。【募集を急げ!】県下組拡担当162人体制、だがスキル不足、学びと率先垂範が待たれる。

【5隊一貫教育は崩壊寸前!】ビーバー隊スカウト0(ゼロ)登録が県下で26隊、ローパー隊ビーバー隊ともスカウト0登録が県下で16隊では運動の未来が危い!

【待ち状態では入団しない、アフターフォローが入団の決め手!】募集イベントで人は集まるが入団しないと悩んでいるが何処からだれが来たのか、だれに入団見込みがあるのか、イベント後のフォローがまるで皆無では、入団はかないません。見込みの方をフォローする担当者を設定し、近い友人などへの後押し依頼、見学会や説明会へ一人一人説得の繰り返しが結果を生みます。

【“文科省委託事業わくわく自然体験あそび”】この事業を実施することで人は集まります。コロナ禍でも申し込み方式やあそび内容次第で人は集まります、時代はそと遊びへ。イベント名称を団・地区独自にし、参加者名簿を整備し、一人一人ピンポイントで入団募集を促しましょう。その連続が登録数増へ直結します。運営体力はいります、気力もいります、しかし結果は必ずついてきます。

【コロナ禍の奮闘団、生の声】浜松第21団清水BVS隊長より『ビーバー年代獲得に奔走、奮起する!独自のイベント開催で入団を促す。』また浜松第19団渋谷団委員長からは『新しい募集アイデアで今をキャッチ!』、そして三島第5団上条団委員長からは『危機をまえに団内結束、積極果敢な募集総力戦』とそれぞれ本音を語って頂きました。

【コロナ禍のスカウティング】最後に静岡県県連大澤副コミッショナーより、『日連、県連コロナ禍活動ガイドラインを熟読、その上でスカウト活動を実践せよ!』と熱いメッセージを頂きました。



大澤副コミッショナー



リモート画面

パイオニアリングに挑戦!

静岡第14回ベンチャー隊 隊長 寺田 万友



ベンチャー隊は、信号塔のパイオニアリングに挑戦しました。最長部までの塔の高さは5.5m程の巨大な工作物になります。

計画は昨年9月にスタートしました。当初は3ヶ月ほどで模型や図書類を作り、年末頃には資材伐採、年明けに実施と考えていましたが、成果物となる模型や図面、資材リスト等がなかなか出来上がりません。それでも年明けには資材となる竹の伐採をしました。

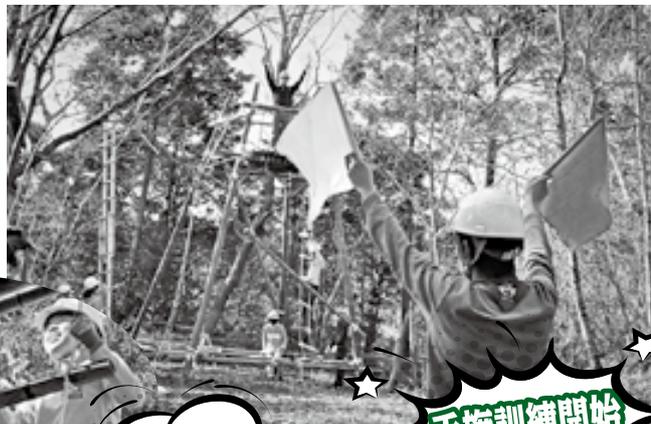
竹の結束が難しいのは理解していましたが、予想以上に竹が重く、

組んだものを回転させたり起こしたりすることが予定通りにできません。模型と異なり水平方向のプレスや火打を入れないと捻れてしまい、何度もトライ・アンド・エラーを繰り返すことになりました。

これらの苦労した経験は、なんらかの糧になってくれたと思います。

静岡第14回ベンチャー隊 川崎 航

私たちはパイオニアリング章の取得を目的として高さ約5mの信号塔の作成をしました。この活動にあたりまず、会議で寸法と作成の大まかな手順を決めました。その後、各自でミニチュア模型と資材リスト、計画書を作成しました。今回は縛材として使用する竹の切り出し作業から行いました。信号塔の作成作業では結びが弱い場所を結び直しや塔の歪みを軽減するための筋交いを予定より多く入れたため完成まで2日掛かってしまいました。普段とは違い全員が自分で計画書などを作成できたので、よかったと思います。



手旗訓練開始

『全国こども体験フォーラム2021』Web生配信

日時: 2021年2月21日(日) 場所: 富士根南小学校グラウンド
富士宮第22団 団委員 杉山 邦宏



④フォーラム生配信本番

④フォーラム生配信リハーサル



④モンキーブリッジ

令和3年2月21日の「わくわく自然体験」実施日にボーイスカウト日本連盟主催の「全国こどもフォーラム2021」がキッザニア東京で開催され、YouTubeチャンネルで生配信が実施されました。ボーイスカウト日本連盟社会連携・広報委員会の澤様より富士宮第22団の会場からの中継が依頼され一週間前から通信テストや音響テスト並びに何回かのリハーサルも行い当日10時30分から5分間富士宮会場から中継を行いました。柏木大来君と院南ひかるさん2人のベンチャースカウトが対応しとてもパッチリでした。

掛川第2団「菊スカウト章」受章 及び「スーパーカブ」認定の報告会

日時: 2021年3月16日(日) 場所: 掛川市役所5階庁議室

掛川第2団スカウト2名がそれぞれ『菊スカウト章』受章と『スーパーカブ』の認定を受けましたので松井三郎市長へ喜びの報告に伺いました。

ベンチャー隊 足立太陽(ひかる)「同級生がいなかったのが寂しかったですが、先輩・指導者の皆さんが厚く面倒見てくださりまして受章することが出来ました。今後も富士章受章を目指して頑張ります!」、カブ隊 石川昭裕(あきひろ)「すべての課題を一人でやりきることは難しかったですが、隊長をはじめ大人の指導者によるサポートのお陰で取ることが出来ました。感謝します!」と元気良く報告しました。松井三郎市長から「これからも元気に頑張ってください」と温かな言葉を頂きました。



ボーイスカウト静岡県連盟 結成100周年記念DVD制作中!

本年結成100周年を迎えるボーイスカウト静岡県連盟の歴史・活動を伝えるビデオDVDを制作中です。創生期の赤沢クラブ時代から戦後の日本・世界ジャンボリー等に至る記録、現在の若き指導者の生メッセージ、スカウト・指導者によるリモート合唱など見所満載です。BGMは尾崎忠次先達の作品を中心に赤沢クラブ合唱団による新録音、MCは元SBSアナウンサーの荒木麻里子さんが務めました。完成した映像は5月の全国大会会場でお披露目、6月に発行が予定されている『100周年記念誌』に添付される予定です。

お楽しみに!



MC: 荒木麻里子さん



BGM: 赤沢クラブ合唱団



「若き指導者」の皆さん

スカウト像モデルの思い出

静岡地区 静岡第14団 杉本 収

静岡県連盟が50周年を向かえた1971年の初冬、記念として制作するスカウト像のモデルの打診があり、大変な名誉であることから「やらせてください」と即答しました。

銅像の制作は静岡高校で美術の指導をされており日展の評議員だった大村政夫先生で決定していました。高校受験が終わった3月初旬から制作がスタート、毎日放課後先生のアトリエに通いました。足の前後左右、膝や腕の角度、体の向き等の様々な指示がありました。そしてハットを掲げ、杖を持ち前進するポーズが創作されていきました。大まかな作りの段階で、これから私がこの粘土像に彫り込まれて行く作業が始まると、身震いを感じたことを覚えています。細部の作り込みがなされていくなかで、左足を箱馬にのせ動かずにいることはさほど苦ではありませんでしたが、左手のハットを掲げるポーズを長時間持続することはかなりきつかった

ため、身体の各部寸法を採寸するコンパス状の木製器具で肘を支えました。この器具はこの後2週間毎日、私の肘を支えてくれる盟友となりました。この肘の支えが一番の思い出ですが、このほか制服と運動靴ではイメージが違うということで先生のお古の革靴をお借りし、モデル終了時に記念に頂いたこと。また制作が進むにつれ、腰の部分が寂しいということで、団にあった道具の中から手斧が急遽追加されたこと等々、この原稿を書きながら懐かしく思い出しました。モデルを務めた1972年もこの文章書いている今も弥生3月。「弥」という文字には、「益々」や「久しく」という意味があります。これから150年、200年とスカウト活動が久しく益々栄えること祈念します。弥栄



三島地区
三島第5団カブ隊

おうちスカ

●「それからの物語」を作り終えて 三戸 柚果

私は、赤組で「それからの物語」のトップバッターになりました。次の人に早くまわさなければならぬのに、どんな風に書くかアイデアがうかばずにこまっていた。家族が「世界一周旅行に出かけるのは?」と言いました。私は、「そのアイデアいいね。」と言いました。ももたろうが鬼を退治した時に、ももたろうが鬼からもらった宝物で世界一周旅行に行くお話にしました。まず、下書きを書くのが大変でした。

次は本番です。下書きよりもっと大変でした。「やった、できた。」と私はさげびました。「よくがんばったね。」と家族全員が言ってくれました。次の人がどんなお話にするか、「それからの物語」の完成が楽しみでしかたありませんでした。



三島第5団カブ隊 隊長 鈴木直子

『おうちスカウティング』で2020年8月までにカブ隊に所属していたスカウトの文集から数人の分を紹介させていただきます。

おうちスカウティングの経験は子どもたちへ

●おうちスカウティング 佐野 優太

コロナウィルスのえいきょうで、学校が休みになったり、活動ができなくなったりしました。でも、隊長がおうちでもできるように、「おうちスカウティング」を考えてくれました。やった内ようは、これからです。まず、ダヴィンチの橋を、わりばしだけを使って作りました。けっこうむずかしくて、たいへんでした。次に、手ばたの暗号をといて、マスクを作りました。全部で3つ作りました。すべて、手ぬいで作りました。少しむずかかったです。さいごに、ふじ登山をしました。本当に富士山をのぼるのではなく、うんどうをしたり、マジックをしたりします。その中で一番しんどかったのは、うんどうです。その理由は、毎日3000ぼ歩かなきゃいけなかったからです。むずかしくはなかったけど、めちゃくちゃしんどかったです。6月ぐらいから、学校がさいかいしたり、活動ができるようになったりしました。これからもがんばっていきます。

●リモート合そうの練習 野田 千晶

リモート合そう「この道进行」でピアノをしました。練習は、歌集のままだと大変なのでコピーしてもらってからしました。わたしは週に1回ピアノ教室に行っていて先生にも曲のしどうをしてもらいました。あとは家で、毎日練習をしました。お母さんにも曲を教してもらったりしました。それでも曲のさつえいの日では、きんちょうのせいか、うまくひくことができませんでした。

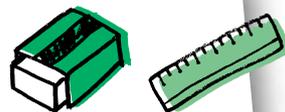
それで10回以上やって一番よかったものをおくりました。色々あったけれど楽しかったです。また、別の曲でもやってみたいです。

●おうちスカウティングと活動のこと 遠藤 伊織

わたしは、「この道进行」をおぼえることを休校中に家でやりました。

この道进行は、1番と3番をおぼえました。おうちスカウティングでは、ロープをベンチャーのお兄ちゃんに教えてもらって1つできるようになりました。わたしは、物語を作るのがとくいなので、ももたろうのそれからの、考えるのがたのしかったです。活動で、白組はSTEM博士でいろいろな物をもやしました。

なんと!最後にデンリーダーがもやした物は、マシュマロでした。みんなでおいしくやきマシュマロを、食べました。おうちスカウティングでも色々大変なことはあったけど、ふだんでは、できないスカウト活動ができてよかったです。



ウディング

の心を大きく成長させてくれました。

2020年9月から新入スカウトがたくさん入隊し、仲間が増えて楽しく活動しています。今後も安全対策をしっかりとしながら楽しく意義のある活動をしていきます。ご参考頂ければ幸いです。

●「マジックでわらおう!」 柏原 裕樹

2020年春、活動が中止になっていた時、だんからの題で、ロープを使ったマジックに挑戦しました。まず、みんなに分かりやすいものがないかと思い家の人と一緒に、パソコンで調べてみた。ほぐがえらんだのは、まほうをかけると、手からロープがぬけるマジックだ。じっさいにやってみると、少しむずかしかった。せつ明をしながら、手を動かすことや、手からするとロープをぬく所は、何度も失ばいしてしまっただが、うまくいくまでれん習してよかったと思った。家ぞくの前で、やって見せたら、すごいと、よろこんでくれて、いっぱい手してもらった。家の中にずっといて、たいくつだったけれど、マジックをして、家ぞくのわらった顔をみたら、とても、明るいきもちになった。

●おうちスカウティングをして 増田 悠人

コロナで学校もじゅくもスカウトも休みになって、友だちにも会えずに、とてもさみしかったです。でも、家でいろいろなスカウティングができて勉強にもなりました。組のみんなときょう力して絵本をかいたり、緑組をとりもどすために、毎日自分が決めた目標にむかって体を動かしたり、マジックをしたり、楽器をえんそうしたり、どれもとてもたのしかったです。

今は学校もじゅくもスカウトもはじまり、前のような生活が少しもどってきたけれど、今まであたり前だと思っていたことにかんしゃをしたいと思います。



●今年も赤組の組長だ 中野 暁祐

今年も赤組の組長になりました。去年は組長として組をまとめることをがんばりました。たとえばどこかにいき遊んでいるさいちゅうに隊長があつまるといい、おそいときには早くといい、早くならばせたりしました。でもそうゆってると早くならぶようにもなりました。今年も赤組の新しく入ってきたカブ隊にいろいろといるんなことをおしえてあげたいです。

●今だからできること デンリーダー 佐野 麻美

いつもと同じ毎日だったら、ハイキングやキャンプなど、楽しい活動がたくさんあったかもしれません。でも、いつもと同じ毎日じゃないからこそ、できたこともあります。新型コロナウイルスの影響で、ほとんど活動ができなくなりました。デンリーダー1年目で、まさかこんなことになるなんて。そんな中、「離れていてもスカウト活動はできる」と、カブ隊からミッションが届きました。『おうちスカウティング』スカウトが個々に頑張るもの、組のみんなで協力して頑張るもの、次々配信されるミッション…。正直なところ、すごく大変でした。しかしスカウトからの達成報告が届くとやる気が出て、元気な姿に安心もしました。いつもと同じ毎日だったら、きっとやることのなかった企画の数々。「今できること」を、改めて考えさせてくれたことに感謝したいと思います。



お宅訪問

ボーイスカウトを楽しもう!!

静岡県連盟 理事長・志太地区 藤枝第2団 団委員 村松 武博

村松理事長所有の山「スカウトランチ(冒険山)」へお邪魔しました。

山道の手前においてある杖を手にし、沢に掛かる丸木橋と吊り橋を渡り、山を登ると広場にたどり着きます。

「この山を購入したのは平成5年、地面で火の焚ける場所が欲しかった。丸坊主の山でしたが、その頃植えた檜の苗が今や15mを超えるほどになりました。その名のとおり「スカウトランチ」(大きな農場・牧場)、スカウトよ大きく育て!丸太とロープがあれば皆、上手に遊んでいきます。沢の水で料理もします。」

「スカウト活動は、地区、団問わずスカウトも大人たちも楽しくやるのが一番、組織を守るためには『数』は絶対ですが、団・隊が数で汲々とするよりも、楽しく活動することが一番だと思います。」

「パトローリングシステムというのは、世の中に出てからすぐ役に立ちます。キャンプで、入ったばかりのスカウトは水汲み薪拾い、次に2級になると調理ができる、ごはんやおかずを作ることができる。班長になると、班長は今までにみんな体験してきたから何でも分かる。ひとりでに責任と分担がわかるようなシステムができています。異年齢のグループの、班長は昔のガキ大将です。自分が目標を決め、段階を追って近づいていく。それは、社会に出た時、サラリーマンでも個人の経営者でも、どうやって仕事を成し遂げていくのかがボーイスカウトの活動に詰まっています。」



「大学3年生の時、国際キャンプスタッフでアメリカに2か月間派遣、6週間はキャンプ場で働き、あと3週間でニューヨークまで旅をしました。40名が日本から旅立ち、サンフランシスコでバラバラになって、私はアイダホに行きました。スカウトたちは1週間ごとに入れ替わり、キャンプ場のスタッフが時間割どおりプログラムを展開、そこで合格するとサインをもらい、隊へ帰って技能章をもらいます。隊のリーダーは、引率してきて、昼間はサイトで火の番です。ジャンボリーも

そうですが、でかい活動に参加すると人生開けますね。」

「もうちょっと世間にアピールしたい。ボーイスカウトです!が世間で通じるように。」

「ボーイスカウトに女子が入ってもう何年もたちます。ボーイスカウトと名乗り続けることに問題がある、という人がいなければならない時代だと思います。今後の課題です。」

「ボーイスカウト、もっとのんびりゆっくりと。今関わっている大人は皆楽しんでいてと思います。大人が楽しんでいればスカウトも楽しんでくれる。そういう楽しい修行の場です。楽しむために大事なのは人間関係、そういう雰囲気を作るのはやはり団委員長。団委員長さん、よろしくお願いします。」



④ 開会式



④ 全員集合



いつも元気だ!! ビーバーだより

ミニガーデン作り

伊東地区 伊東第5団 ビーバー隊 榊原 直輝

クリスマスのミニガーデンを作りました。まず、いたに人工しばを切ってはりました。つぎに大きいまつぼっくりをつけました。まつぼっくりはクリスマスツリーのかわりです。あとはかざりつけをしました。きれいな

小石やおはじき、くつや手ぶくろのオーナメントがありました。さいごにゆきがふつたようにするためにスプレーをしました。作るのはとてもたのしかったです。家にかえったらおにいちゃんにほめられました。ぼくはミニガーデンをげんかんにかざっています。とてもかわいいです。



ボーイ通信 BOYSCOUT

もちつき体験 ~ボーイスカウトとあそぼう~

清水地区 興津第1団ボーイ隊 古牧 隼人

「ボーイスカウトとあそぼう！」イベントに、興津地区の近くから小学生がたくさん参加してくれました。感染症対策をしっかりと、もち米を蒸すところからもちつき体験をしてもらいました。火加減も見てもらいました。もちつきは、もちをつくだけではなくて、様々な手順があることを知ってほしかったからです。「よいしょ！」重たい杵を持ち上げてつくときは、大変そうな表情になっていました。つきあがった餅は、それぞれがこねて丸め



て、持ち帰ってもらいました。もちつき体験の後には、ナタの使い方や火の起こし方について手本を見せて教えました。みんなが興味をもってくれました。これを機にボーイスカウトに入隊してくれればいいと思います。コロナ禍で皆と遊ぶことが難しくなっているけど、もちつき体験を楽しんでくれたようで嬉しかったです。今までの様に楽しく活動ができる日が早く来ることを願っています。

課題ハイキング

沼駿地区 沼津第16団 ボーイ隊

《尾澤銀二郎》

私は、1月にハイキングに行ってきました。いろいろな課目を進めていく中で、二つほど新しい課題が見つかりました。まず一つ目は、コースの確認です。私は、道路の近くは危ないと判断し、大きく遠回りして土手の上を歩きました。隊長や団員は、「自分で、正解だと思うならいいと思う。」と、言ってくれましたが、これが時間ロスの一つの大きな原因になってしまったので、



次回は安全兼短いルートを選べるようにしたいです。二つ目は、スカウトペースができないことです。コースのこともそうでしたが、ここでも余計な時間を使いました。スタート地点も見つけられず、歩き方さえ間違えていました。隊長は、「新しい測り方ができるかもね。」と言っていましたが、私はまず普通のスカウトペースができるようになりたいです。そして、時間を気にして行動ができる班長になりたいです。

《佐野直太郎》

ぼくは、ボーイスカウトにあがってから初めてのハイキングを1月にやりました。ハイキングでとくにむずかしかったものを紹介します。

1つ目は、バックベアリングです。バックベアリングは、あらかじめ北の方向に何本か線を引き、自分が見えている高いものを使い、その高い物から地図上で直線をひき自分の今いる位置を確かめるときに使うコンパスの技能です。正確に位置を特定しなければいけないところが初めての僕にとって、特に難しく苦労しました。

2つ目は、追跡サインに従って進みなさいという課題

です。追跡サインはとても覚えるのがむずかしく、分からなかったときは班長に手伝ってもらいました。ハイキングはむずかしいことが多いけれどたくさんの技能を覚えられてよかったです。

《山本 諒》

僕は1月にハイキング課題を行いました。隊員3人で協力して、目的地までコンパスや地図などを使って進むなどを解くようなハイキングでした。特に現在地を確かめたり角度を測ったりするところに驚きました。



このハイキングで、道具とチームワークと知識が大切だということがわかりました。次のハイキングもがんばりたいと思います。



海岸清掃して

袋井・掛川地区 菊川第1団 ベンチャー隊 松本 桜花

今、世界では海洋プラスチックゴミが問題視されています。れじぶくろの有料化など、この問題が身近である事を感じた方が多いのではないのでしょうか。

私は、11月の海岸清掃と魚釣りの活動を通して、改めてこの問題は深刻なのだと感じました。海岸には拾いきれないほどのゴミがあり、とても驚きました。魚釣りでは港の角に沢山のゴミが波で集まっていた。

そのゴミの大半はマイクロプラスチックの元となるペットボトルやレジ袋、包装フィルムでした。中には海藻に絡まり取れないゴミや、既にポロポロでマイクロプラスチックになりかけているゴミもありました。

私は、今までゴミ問題が深刻であるとは聞いていたが、危機感をあまり抱いておらず他人事のように感じていた所がありました。しかし、実際にゴミを見て拾い、1人1人がこのゴミ問題を認識し、危機感を持って自分が出ることをすると言う事がいかに大切か、知りました。

是非、海に行き、ゴミがどれだけ落ちているか自分の目で確かめてみてください。

指導者だより

ワクワク自然体験あそび

三島地区 函南第1団ボーイ隊 隊長 川口 利宏

日時：令和2年11月29日

函南町柏谷公園にて小学校1～2年生を対象に開催された「ボーイスカウトとあそぼう！ワクワク自然体験あそび」について報告致します。内容は、柏谷公園に住む仙人から話を聞いた子どもたちが、いくつかの試練をくぐり抜けて宝物を探すポイントラリーとして、ビーバー



ワクワク自然体験あそび

富士宮地区 富士宮第22団 団委員 杉山 邦宏

日時：2月21日 場所：富士根南小学校グラウンド

本年は新型コロナのこともあり中止と決めていました「ハッピーイヤーカーニバル」の代わりとして『ワクワク自然体験あそび』を実施致しました。団では各隊の隊長・団委員が中心となり実行委員会を発足し、実施場所・募集・プログラム・コロナ感染対策などの協議を行いました。チラシは1600枚制作し、実施1か月前に幼稚園・保育園・小学校に年長から小3までの各学校の状況を把握してクラス毎に仕分け、団委員・隊長達がイベントの趣旨の説明を行い配布しました。結果、富士宮市内だけで25名の参加希望があり、配布を行っていない市

外の方8名の応募がありました。一般参加者とスカウトと一緒に班分けを行い、各プログラムブースを移動してプログラムを行うことにしました。班分けした時にボーイ隊のスカウトが子供たちの面倒を見ました。プログラムは各隊で用意した観察ゲーム・段ボール迷路作り・ロープ結びと団で用意したモンキーブリッジ等でした。ボーイ隊が用意した立ちかまどを利用しての焼きマッシュマロを昼食時各自で焼いて食べたり、全体ゲームなども行いました。各隊の指導者の機転ある対応で参加者は十分に楽しめたと思います。後で一般参加者の保護者に感想を聞くことができ、ボーイスカウトの活動についてご意見を伺ったところ普段あまりボーイスカウト接する機会がないのけれど、こんなことをしているんだとビックリしていました。お子様を入隊させたいとの話もチラホラ出来ているようです。また保護者の方で指導者になりたいとの話が具体的にできました。その方は保育士さんだとのことでした。頼もしい限りです。



2020年度のビーバー隊の活動

島田地区 相良第1団 ビーバー隊 隊長 畠 咲乃

毎年恒例のアクティ森での手すき和紙のハガキ作りも、海の家での流しそうめんも、大晦日(～元旦)の夜間ハイクのお汁粉も(ハイクは頑張りましたが)、コロナの影響で取りやめました。流しそうめんは出来なかったけど、相良海岸では、東海大学のライフセーバーの方々コロナ禍の中でも海水浴客の安全を守るために監視をされていたので、一緒にビーチクリーンをしました。ビーチクリーンは、海岸をきれいにすること→海をきれいにすること→海洋生物を守る事・陸上の人を含めた生物を守る事に繋がる、という事でSDGsの目標にも取り組んだことになりました。また、旧相良町大江地区の紅林さんの古民家で、何度か活動させて頂きました。敷地内に平飼いでいるニワトリの餌やり体験をさせていただいたときに、有精卵をお土産に頂き、みんなで大喜びしました。その後、一人のスカウトのお母さんからその卵からひながかえたと、喜びの報告を受けました。先日の隊集会の折にも、ひなから大きくなり悪戯になったニワトリの話をお聞き



しました。命の尊さや不思議さを身近に感じる事ができ、とても良いプログラムになったと嬉しく思いました。大晦日(～元旦)の夜間ハイクは、団会議での協議の結果、3密を回避するために相良海岸での焚き火、マーキー、お汁粉は止めました。それはそれでタイトになって良かったと思いましたが、ハイクする人にとっては、マーキーはゴール地点の目印になるし、焚き火やお汁粉には、冷えた身体を心ごと温める威力があるかな?等々と、これまで思いもしなかった事をいろいろと考える機会になりました。ほぼ月2回の隊集会のうち1回は、小保副長が紙芝居活動の奉仕をされている油田の里公園で、川えびや沢ガニの観察をしたり、アスレチックで遊んだりして、スカウトデーのプログラムでアスレチック広場の草取りなどの活動をしました。今年度は、想定外の事態で対応に苦慮しましたが、ビーバー隊の野外活動が支障なくできたのは、サポートして下さる保護者、地域の皆様や団委員の方々のお陰と、より一層の感謝の思いを強くしました。今後も皆様のご協力を頂きながら、どんな時も万全の注意を払い、恵まれた自然を満喫できる野外活動を目指していきたいと思っております。

規制された活動

磐田地区 コミッショナー 熊谷 正和

見えないものにここまで全てのことが左右されるとは、誰も予想できなかった1年でした。ボーイスカウトだけでなく仕事や家庭内、様々なことが制限され、指導者の皆さんもさぞご苦労されたことと思います。今後も、いつ終息するかわかりませんが、この事態とも付き合っていくしかありません。葉書や手紙、リモートでの集会も活用しながら活動を止めないように地区役員全員で協力していきたいと思っています。幸い、磐田地区では合同隊集会が多く行われ、コミッショナーとして地区に誇りが持てました。

a, ビーバー隊の浜松弁天島での釣り集会和ハイキング。
b, カブ隊の合同での粟が岳ハイキング。
c, ボーイ隊では緊急事態宣言解除後の6月に獅子が鼻公園での合同ハイキングを行い、各ポイントで手旗や地図とコンパス、ロープワークなど多彩なスカウト技能を学び、10月にも掛川の、さくら咲く学校でパイオニアリングや、ドームテントの設営、手旗訓練など、高校生のベンチャー隊が指揮をとり、謎の名探偵も現れて愉しく活動が出来ました。

この合同隊集会の利点は、指導者や支援者も増えて、活動の幅が飛躍的に上がり、より良い集会になります。指導者の皆さん、ぜひとも合同隊集会を行いましょ。スカウトのために!



ユースルーム引越しに伴う県連団倉庫整理

日時: 3月6日(土) 焼津第5団ベンチャー隊隊長 福田 健一

少しの時間でしたが、倉庫整理のお手伝いをさせていただきました。

あるある話だと思いますが、過去の資料が出てくると、つい手を止めて見てしまいます。知っている方の若かりし頃の写真に盛り上がった、資料当時の様子を考えてみたり。などなど。中には、存じ上げない方のお名前も沢山ありました。作業していくなかで、これまで沢山の方々が静岡県連盟の一員としてこの運動に関わり、今の私と同じ道を歩んできたのだなあ！と、100年の歴史を肌で感じる事ができました。今回整理したスペースには、これから100年の歴史を埋めていきましょう！



おめでとう!! 35名の仲間が友情章を授与されました。

「友情章」は、君の友達に「スカウトになろうよ!」と言って、友達がスカウトに入るともらえる章です。記念品はネームプレートがもらえるよ。次は君が友達を紹介して「友情章」をゲットしよう!

令和3年4月度「友情章」顕彰者名簿

組織拡充・広報委員会

氏名	地区	所属	氏名	地区	所属
井上華菜美	富士	富士第8団 BVS隊	石野由明	浜松	浜松第12団 V S隊
飯塚にこ	三島	三島第5団 B S隊	野田博熙	浜松	浜松第12団 C S隊
宇野亘留	浜松東	浜松第24団 C S隊	堀合湊斗	三島	大仁第1団 BVS隊
森下郁那	浜松東	浜松第24団 C S隊	杉山瑞樹	三島	大仁第1団 BVS隊
金森海斗	浜松東	浜松第24団 C S隊	小見和真	三島	大仁第1団 BVS隊
富田総一郎	静岡	静岡第27団 BVS隊	土屋梓真	三島	大仁第1団 C S隊
大原綜真	浜松	浜松第12団 C S隊	池田航平	志太	焼津第1団 C S隊
山中優奈	浜松	浜松第12団 C S隊	川口真湖	志太	焼津第1団 C S隊
齋藤愛月	浜松	浜松第12団 BVS隊	加茂征橙	志太	焼津第1団 C S隊
安心院理乃	島田	御前崎第1団 BVS隊	岩田結衣	志太	焼津第1団 C S隊
鈴木莉子	静岡	静岡第7団 BVS隊	鈴木寛路	志太	焼津第1団 C S隊
秋本真瑚	静岡	静岡第7団 C S隊	草津慶斗	志太	焼津第1団 C S隊
神原康晃	伊東	伊東第5団 C S隊	中川雄仁	沼駿	沼津第19団 C S隊
栩木秀斗	浜松	浜松第22団 B S隊	鈴木大輔	沼駿	沼津第19団 C S隊
玉置創士	浜松	浜松第22団 B S隊	松本健	沼駿	裾野第3団 C S隊
海野真寿	浜松	浜松第22団 C S隊	高村陽信	沼駿	裾野第3団 BVS隊
鈴木遼太	浜松	浜松第22団 C S隊	川上陸	沼駿	裾野第3団 BVS隊
村松柚羽	浜松	浜松第22団 C S隊			

令和3年 全国大会 静岡・熱海



2021(令和3)年度 全国大会

テーマ: **Creating a Better World** (より良い世界を創ろう)

～活動的で自立した青少年を育てよう!!～

全国大会は、社会への本運動の理解を広めるとともに、加盟員の研鑽の場、本連盟と参加者の双方からの情報交換の場として開催します。

日本連盟および都道府県連盟などの活動報告や展示、年次表彰のほか、参加者が全国の多くの仲間と触れ合うことによって、ボーイスカウト運動に関わっている喜びを実感してその意義を分かち合い、同時に、全国の指導者によるスカウト運動推進に向けた各種研修、情報交換や懇親によって幅広くスカウト関係者からの意見や要望を聞くことで、さらに開かれた教育運動を目指します。

なお、今回の大会は、新型コロナウイルスの影響に鑑み、交歓会および公募によるスカウティングエキスポは実施しないこととします。



ボーイスカウト静岡県連盟より



今年、少年団静岡県連盟が結成されて100周年を迎えます。

この記念すべき年に、全国大会がこの地で開催されることをとても光栄に思います。

静岡県は、これまでに世界ジャンボリー、アジアジャンボリーを含めた5回のジャンボリー、2回のアグーナリーが開催された、ボーイスカウトにはおな

じみのところでは、

日本一高い富士の山、日本一深い駿河湾、気候温暖にして風光明媚な静岡県。その中でも古くから温泉地として名高い熱海市において全国大会が開催されます。

新型コロナウイルスの嵐が早く治まり、多くの皆さまがご参加いただけますようお願いしております。

■ 日程 / 5月29日(土)～30日(日)

■ 場所 / 静岡・熱海市

- 世界救世教 救世会館
〒413-0005 静岡県熱海市横山町26-1
- 世界救世教 福音会館
〒413-0006 静岡県熱海市横山町27-1
- MOA 美術館
〒413-0005 静岡県熱海市横山町26-2



- 主催 / 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟
- 開催県連盟 / 日本ボーイスカウト静岡県連盟
- 後援 / (申請予定) 静岡県、静岡県教育委員会、熱海市、熱海市教育委員会、熱海市観光協会
- 参加者
 1. ボーイスカウト指導者・役員員(隊長、指導員長、地区コミッショナーの参加を期待します)
 2. ローバースカウト
 3. スカウトの保護者、育成会員、スカウトクラブ会員等
 4. 行政関係者
- 大会参加費 / ¥3,000-(資料および記念品代含む)

■ 主な日程

- 5月29日(土)
 - 12:00～12:45 静岡県連盟創立100周年セレモニー
 - 12:45～13:00 トランペット部隊とカラーチームの演奏
 - 13:00～15:15 開会式、表彰式等
 - 15:30～17:30 総会議(県連盟代表者会議、全国県連盟コミッショナー会議、RCJ総会)

- 5月30日(日)
 - 9:00～11:30 全国スカウト教育会議(=テーマ集会)
- ※交歓会および公募によるスカウティングエキスポは実施しません。

新型コロナウイルスの状況により、計画が変更になる場合があります。最新情報は日本連盟ホームページ等で随時お知らせいたします。

おしらせコーナー

ボーイスカウト講習会 静岡第615期《浜松》

- 日 時:令和3年5月16日(日)
- 場 所:浜松市立青少年の家
- 申込み:5月9日(日)まで
浜松地区進歩・指導者養成委員長
必着

ボーイスカウト講習会 静岡第616期《富士宮》

- 日 時:令和3年6月6日(日)
- 場 所:富士宮市咲花区民会館
- 申込み:5月30日(日)まで
富士宮地区進歩・指導者養成委員長
必着

ボーイスカウト講習会 静岡第617期《三島》

- 日 時:令和3年6月20日(日)
- 場 所:静岡県総合健康センター
- 申込み:6月6日(日)まで
三島地区指導者養成委員長
必着

WB研修所 課程別研修 《春 期》

- 日 時:令和3年5月23日(日)
- 場 所:静岡県青少年会館
- 申込み:4月23日(金)まで
静岡県連盟事務局 必着

令和3年度日本連盟全国大会・表彰式・ 静岡県連盟結成100周年記念式典

- 日 時:令和3年5月29日(土)・30日(日)
- 場 所:熱海市
世界救世教救世会館・美術館・
瑞雲会館・MOA研修センター

県連盟定時総会 表彰式・交歓会

- 日 時:令和3年6月26日(土)
- 場 所:清水テルサ 7階 会議室

ボーイスカウトへの お問い合わせ・入隊希望は

ボーイスカウト静岡県連盟事務局

(☎054-255-6185)までご連絡下さい

ホームページ <http://bs-shizuoka.com>

Facebook <https://www.facebook.com/ShizuokaScoutCouncil/>もご覧下さい。

編 集 日 記

新年度の活動が始まりました。本年度はボーイスカウト静岡県連盟結成 100 周年で全国大会ほか、様々な事業が予定されております。「たちばな」も前年度以上に充実した内容を目指します。皆様からのご意見・情報及び取材依頼を県連事務局までお寄せ下さいますようお願い致します。

広報「たちばな」編集部 杉山 文朗

広 報 “たちばな” 2021 年 4 月
 発 行 所 一般社団法人 日本ボーイスカウト静岡県連盟
 〒420-0068 静岡県静岡市葵区田町 1-70-1
 県青少年会館内
 TEL054-255-6185 FAX054-255-6186
<http://bs-shizuoka.com>
 編集責任者 総務委員長 松田 茂
 印 刷 三富印刷株式会社
 静岡県浜松市東区上新屋町 30-1 TEL053-467-4678
 発行部数 3,800 部